

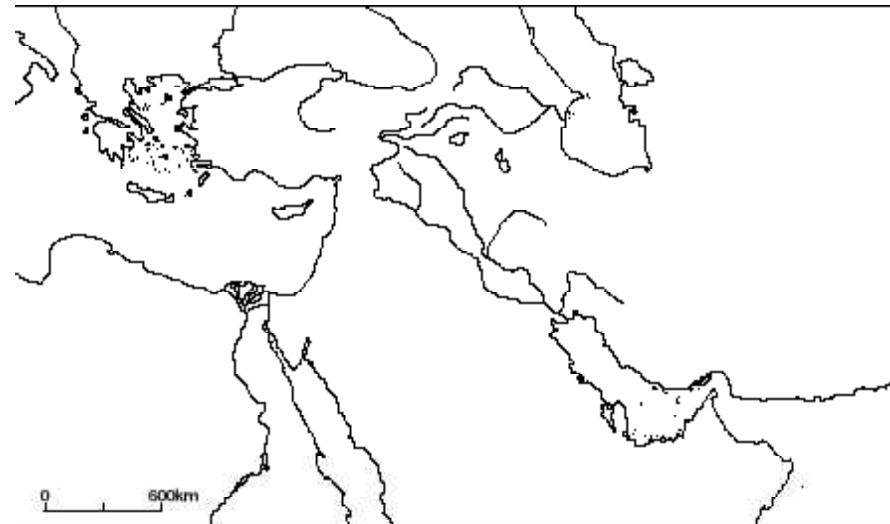
2. イラクの成立(p10・11 教p330・344)

I. イラク戦争はどのような戦争なのだろうか？

1. イラクという国について見ていこう。(p10・21参照)

①イラク…[1]川と [2]川流域に成立
四大文明の一つ[3]文明発祥の地

②周辺国
東に[4]
北に[5]
北西に[6]
西に[7]
南に[8]



南のペルシア湾入り口で
[9]
以上六カ国と接する

③南の[10]湾へはイラン・クウェートの間の狭い回廊をへてつながる。

面積は日本の[11]倍、人口[12]万人

石油埋蔵量、[13]について世界第[14]位

④民族[15]人＝中東・北アフリカの広範囲にすむ[16]語を話す人々

先祖は[17]半島出身

人口的には少ないが支配権を握る[18]派イスラム教徒

→イスラム世界・アラブ世界では圧倒的多数派

人口的には多い(人口の[19]%)が被支配者の[20]派イ

スラム教徒が存在

→隣国の[21](イラン民族)がこの宗派の国

[22]人(人口の[23]%)＝北部山岳地帯に住む

「国家を持たない最大の民族」

→イラク・[24] [25] [26]の四カ国に別れてすむ

いずれの国でも少数派として迫害される。

とくに[27]では民族としての存在を認められていない

①二〇世紀初頭までのイラクは[28]の一部、しかしトルコの弱体化すすむ

② 1913 年、[29]はこの地域の南部[30]を切り離し自国の植民地とする

③ 1914～1918[31]発生→イギリスが占領、オスマン＝トルコから奪い取る

④ 1921 年、イギリスと[32]は中東のオスマン＝トルコ領を両国で「山分け」にする

イギリスは旧トルコ領の三つの州(バスラ・バグダッド・モスル)を統合し[33]とする。その際、[34]は別に独立国として認める。

※イラクという名は古代文明の地名からくる

⑤イギリスはメッカ出身のアラブ人指導者である[35]家の[36]をイラク国王とする。

1932 年[37]の独立を認めるが、実質的にはハーシム家を通じて[38]支配がつづく。

⑥第二次大戦後、アメリカの同盟国として[39](METO)の中心となる

⑦ 1958 年軍部クーデターにより[40]が打倒され、王は処刑される。
→アブドル＝カセム政権、しだいに共産党・[41]寄りの姿勢を強める。

イラクの脱退の結果、アメリカは[42] [43] [44]で反共・反ソの軍事同盟、中央条約機構(CENTO)を結成。

⑧この時期、アメリカの西アジアの支配は[45]と、[46]国王率いる[47]、および[48]が中心になる。

＝この3カ国にたいしアメリカは膨大な軍事援助を行う

⑨ 1979 年親米国の中心[49]でイスラム革命が発生、パーレヴィ国王失脚
→指導者のホメイニ師は[50]主義を取り、[51]を主張
→[52]占拠事件をおこす。

イランはそれまでの親米国の中心から、反米勢力の中心となる。

アメリカは[53]と対抗できる勢力として[54]を大統領とする[55]に注目するようになる。